



令和6年11月／発行：葛飾区都市整備部都市計画課（担当：田上・石塚）／電話：03-5654-8382

東金町地区震災復興まちづくりフォローアップ訓練を実施しました！

9月21日（土）14時から「東金町地区 震災復興まちづくりフォローアップ訓練」を開催しました。

震災復興まちづくりフォローアップ訓練とは

葛飾区では、地区ごとに順次「震災復興まちづくり訓練」を実施しています。

「震災復興まちづくり訓練」は、大規模な震災が起きたことを想定し「どのように住まいを再建するか」「どんなまちに復興していきたいか」を地域の皆さんと区職員で話し合いながら、復興の進め方をまとめる机上訓練です。東金町地区では平成26年度に訓練を実施し、「東金町地区震災復興の進め方について」をまとめていますが、訓練の開催から10年が経過していることから、改めて震災復興まちづくりフォローアップ訓練を実施し、「東金町地区震災復興の進め方について」の振り返りや被災後どのように復興を進めていくか、意見交換を行いました。

この「ふっこう訓練通信」では、フォローアップ訓練の様子をご紹介します。当日の資料や当日実施したアンケートにて頂いたご意見と区の考え方は、区のホームページでご覧いただけます。

トップページ>>くらし・手続き>安心・安全>防災・国民保護>震災復興まちづくり訓練について



東金町地区震災復興の進め方について（平成26年発行）

16名の方に
ご参加いただきました！

フォローアップ訓練の内容

（1）葛飾区の被害想定と地域協働復興を知ろう

- 震度6弱から6強の首都直下地震が発生した時、葛飾区では、283人の死者、4,589棟の建物全壊や5,137棟の焼失、区内広範囲で液状化の発生など大きな被害が想定されています（※）。
- 被災状況にもよりますが、ライフライン・インフラの復旧目安は、[電気：1週間程度] [都市ガス：1～2か月程度] [上下水道：1か月以上] [通信：2週間程度] [鉄道：1か月以上] [道路：1週間程度] となっています。
- 地震発生時や復興時には、自助、共助、公助が相互に連携する必要があります。
- 地域協働復興とは、地域の皆さんと行政が協働して復興に取り組む東京都の理念です。葛飾区では各町会・自治会が相互に被災生活に関する情報を共有し、話し合いを行う会のことを被災者生活支援連絡会と呼び、あらゆる分野の復興に向けて区などと連携することを想定しています。

※首都直下地震等による東京の被害想定（令和4年5月東京都公表、都心南部直下地震の場合）。焼失棟数は倒壊棟数を含まない。

（2）演習①被災後の『住まい』の復興方針について話し合おう

参加者が（裏面右上図のような）3つのグループに分かれ、被害状況や世帯設定が異なる被災者になりきり、「住まいの復興」について考え、被災後の仮住まいや自宅の再建方法、復興課題について意見交換をするグループワークを行いました。

主なご意見は裏面をご覧ください。



訓練当日の様子



演習①グループワークの様子

